

# 【組織研修】 雰囲気の良い事業所

実施日 年 月 日 事業所名

名前

# 目次

## 【組織研修】 雰囲気の良い事業所

---

1

事業所の雰囲気

2

雰囲気の良い事業所の取り組み

3

まとめ

▶ “雰囲気” が良いと...



【 雰囲気が良いと 】

“生産性とパフォーマンスの向上”

働きやすい環境は、業務へのやる気や集中力を高め、結果として作業効率のアップにつながります。

また、心理的安全性が確保されることで、役職に関わらずアイデアを出し合いやすくなり、新しい価値のあるサービスを提供できるようになる。

“離職率の低下と人材の定着”

自分の意見が尊重される環境では、従業員の会社に対する愛着が高まり、離職防止に大きく貢献します。

また、“**雰囲気が良い = 働きやすい**” という評判は、職員の採用において優秀な人材を引きつける大きな強みとなります。



▶ “雰囲気” が良いと...

【 雰囲気が良いと ② 】

“スタッフの心身の健康”

コミュニケーションが円滑な職場では、悩みやトラブルを早期に相談できるため、一人で問題を抱え込む事がなく、**スタッフのストレスを減らせます。**

また、良好な人間関係があると、問題が発生した際も組織全体で迅速かつ柔軟に対応でき、緊急時や平時において、**安全性や危機への対応力が高まる。**

結果的に



雰囲気が良い事業所では、支援の質が高まり、サービスの価値が向上する

▶ “雰囲気” が良いと...

【 雰囲気が良いと ③ 】

“顧客との信頼関係” が深まる

スタッフが精神的に負担が少なく意欲的だと、顧客の感情に寄り添った柔軟な対応や丁寧なヒアリングが可能になります。

また、明るい挨拶や清潔感のある環境整備など、細かい配慮が顧客に伝わり、リピートに直結します。

結果的に



稼働率がよく、安定した経営環境になる





## ▶ “コミュニケーションを円滑にする取り組み”

### “対話の機会を増やす”

業務の悩みやキャリアについて、上司や会社と“気軽に話せる場”を設ける。また、上司が「ありがとう」等、感謝の気持ちを言葉で出せると、なお良い。

### “情報の共有をする”

従業員に適宜アンケートを取り、“会社と従業員で情報等を共有”する。また、会社内や事業所内でも出来るだけ、“情報の共有と透明性”を図る。

### “業務量の適正化をする”

特定の個人に負担が偏ったり、新入社員にベテラン社員と同じ業務量を求めるなどが無いように、“業務を分散”する。また、正当な人事評価制度を整えることで、“不公平感によるストレスを解消”する。

## ▶ “環境整備”

“事業所の環境”

掃除等の環境整備を行うことで、管理の行き届いた職場環境を作る。

## ▶ “自己のコントロール”

“自己の感情コントロール”

個人的な感情の乱れ等があっても、笑顔で挨拶を行ったり、適切な言葉遣いを行う。

## ▶ “身だしなみ”

“職務に適した服装”

不潔感の無い、職務に適した服装をする。



事業所内の雰囲気だけでなく、顧客から良い印象を得られる。



## まとめ

質の高いサービスを提供するのが私たちの仕事ですが、同時に、自分の働く事業所の雰囲気づくりも大切な仕事です。

折角、良いサービスを提供していても、雰囲気が悪いと、顧客からの評価は半減してしまいます。雰囲気の良い事業所は、きっとサービスの質も高いはずです。

まずは身なりを整えて、笑顔で挨拶をしてみましよう。

ご視聴、ありがとうございました。

